

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 5 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	介護経験の浅い、職員が多く、認知症に対する理解が不十分である。研修する機会を設けて理解を深める必要がある。	研修会へ参加する機会を増やし、職員のきづく力の向上を図る。	認知症介護の研修会に参加する機会を増やし、認知症への理解を深める。気付きや意見が出しやすい職場の雰囲気づくりに努める。	12ヶ月
2	23	利用者間での会話や交流・職員との会話や交流もできているが利用者様の想いや知りえた情報の記録が少ない。	全職員が利用者様との関わりのなかで知りえた情報を細目に記録する。	申し送りノート・個別支援記録に記入し、利用者様の想いや希望が理解できるように努める。	1ヶ月
3	26	介護計画に沿った日々の記録が不十分である。	一人ひとりの支援内容に沿った記録ができる。	介護計画に基づいた支援が実践されているかを職員間で話し合う。個別支援内容について記入しやすいようにケース記録の表紙に内容を添付する。	1ヶ月
4	10	数名の方を除いて家族が島外や高齢で施設へ訪問する事が難しく、家族と一緒に集まる機会が少ない。	年2回、家族参加の行事を計画する。	夏に夕涼み会・冬に忘年会を開催する。親しい知人や親戚へも参加案内をお出する。行事開催時家族間の交流の時間を設ける。	12ヶ月
5	35	職員のための訓練で地域住民や法人との連携した訓練ができていない。地域の方の協力を得ることが課題である。自然災害に備えた訓練と備蓄品の検討と準備が必要である。	地域住民の協力が得られるように、関係づくりに努める。災害を予測した食料や飲料水・毛布等を用意する。	運営推進会議を通し地域の方々へお願いする。訓練に法人関係者の参加を依頼し、緊急時の対応の確認を行う。消防署を通して消防団への協力をお願いする。備蓄品の準備を行う。	12ヶ月